

# 麻疹ワクチン接種率に関する用語

## 予防接種実施率（比）

これまで厚生労働省が報告していた算定方式を「予防接種実施率（比）」という。

$$(\text{実際の接種者数}) \div (\text{1歳児の数}) = \text{予防接種実施率 (比)}$$

「接種率」との混同を避けるため百分率とせず、単純な比率のまま用いることが望ましいが、これまで%で表現されていた実績があるので、%の表現も可とする。

なお、予防接種研究班で報告されていた算定方式を「研究班方式予防接種実施率（比）」または「積み残し加算予防接種実施率」と呼ぶ。

$$(\text{実際の接種者数}) \div (\text{接種予定者数}) = \text{研究班方式予防接種実施率 (比)}$$

ただし、「接種予定者数」としては「1歳児の数+接種漏れ者数」を用いる

## 年齢別累積接種率

ある年齢（月齢）に到達した者のうち接種を受けている割合を「年齢別累積接種率」という。

$$(\text{分母の人口の中で対象年齢までに接種を受けた者}) \div (\text{対象年齢人口}) = \text{年齢別累積接種率}$$

## 累積接種率曲線

月齢ごとに累積接種率を求めて得られる曲線を「累積接種率曲線」という。

## 接種完了率（暫定用語）

ある年齢以下の人口で接種を済ませた者の比率を「接種完了率」（暫定用語）という。

$$(\text{対象人口の中で接種を受けた者の総数}) \div (\text{ある年齢以下の人口}) = \text{接種完了率}$$

## 接種達成率（暫定用語）

接種完了率を理論的最高値で除した値を「接種達成率」（暫定用語）という。

たとえば、麻疹の完了率を満 3 才で求めると理論的最高値は 66.6 となるのでわかりにくいため、その理論的最高値の 66.6 で実際の完了率を除したものを「接種達成率」とする。

## 備考

「接種完了率」とし、「接種達成率」は暫定的に使用する用語であり、将来変更される可能性があります。

# 目次

1. システムのインストールとアンインストール.....	1
1.1. 動作環境.....	1
1.2. インストール.....	1
1.3. アンインストール.....	6
2. システムの起動と終了.....	10
2.1. システムの起動.....	10
2.2. 累積接種率統計システムの起動画面.....	11
2.3. 標本数の入力画面.....	11
2.4. 累積接種率統計システムのメイン画面.....	12
2.5. システムの終了.....	12
2.6. 電子マニュアル.....	12
3. システムで共通の操作について.....	13
3.1. [Tab]キーによるカーソルの移動.....	13
3.2. アクセスキーによる指定.....	14
4. 標本数を入力する.....	15
5. 接種月齢データを入力する.....	16
5.1. 接種月齢の入力方法.....	17
5.1.1 接種月齢による入力.....	17
5.1.2 生年月日と接種日による入力.....	18
5.2. 接種月齢のクリア方法.....	19
5.3. その他.....	19
6. 累積接種率統計表を見る.....	20
7. 累積接種率統計表からグラフを表示する.....	22
7.1. 累積接種率グラフ.....	22
7.2. 接種者数グラフ.....	23
7.3. グラフの表示設定を行う.....	24
8. グラフを Microsoft Excel に保存する.....	27
8.1. 保存ファイル名の指定.....	28
8.2. 保存の実行.....	29
8.3. Microsoft Excel ファイル.....	30
9. その他の設定.....	33
9.1. 起動ロゴ画面の表示と非表示を指定する.....	33
10. 注意点.....	34
11. エラーメッセージ一覧.....	35

# システムのインストールとアンインストール

## 1.1. 動作環境

本システムを利用するには、以下の環境が必要です。

オペレーティングシステム	Microsoft Windows98SE/Me/2000Professional/XP
ディスプレイ	解像度 800×600 以上
表計算ソフト(*)	Microsoft Excel 2000/2002

(\*)統計データを Microsoft Excel に出力する場合のみ必要です。

## 1.2. インストール

本システムを使用するためには、ご使用のパソコンのハードディスクに本システムをインストールする必要があります。インストールを行うと、「累積接種率統計システム」と「マニュアル」がスタートメニューのプログラムに組み込まれます。

本書では、パソコンのオペレーティングシステムを Microsoft Windows2000 及び Microsoft Windows98 として説明しています。

(注意) オペレーティングシステムが Windows2000 の場合、Administrator でログインしてインストールを行ってください。

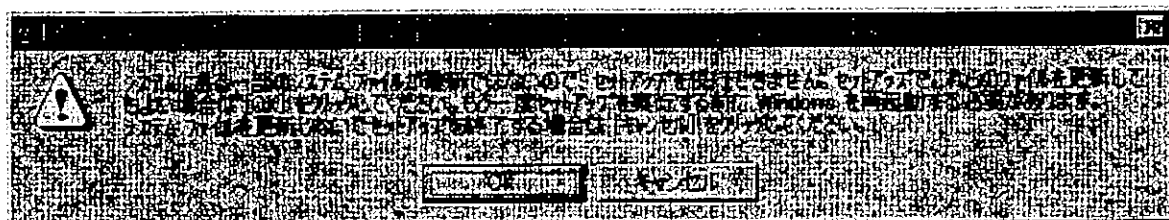
- ・ CD-ROMをパソコンにセットします。
- ・ CD-ROM内の「setup.exe」をダブルクリックしてインストーラを起動してください。



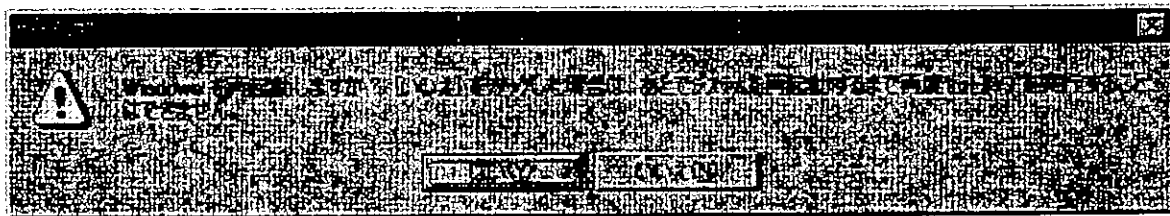
アイコンをダブルクリック  
すると起動します

## 【2】システムファイルの更新確認メッセージ

インストールが始まると、システムファイルの更新確認メッセージが表示される場合があります。セットアップを継続する場合は [OK] を選択してください。

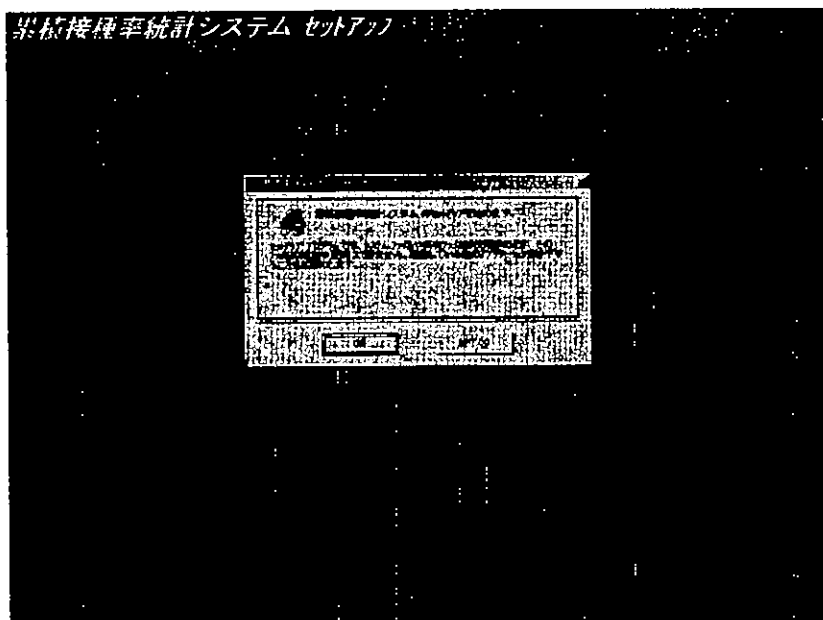


セットアップを継続する場合、Windows の再起動が必要となります。以下の確認メッセージが表示されます。すぐに再起動を行い、セットアップを実行する場合は [はい(Y)] を選択してください。



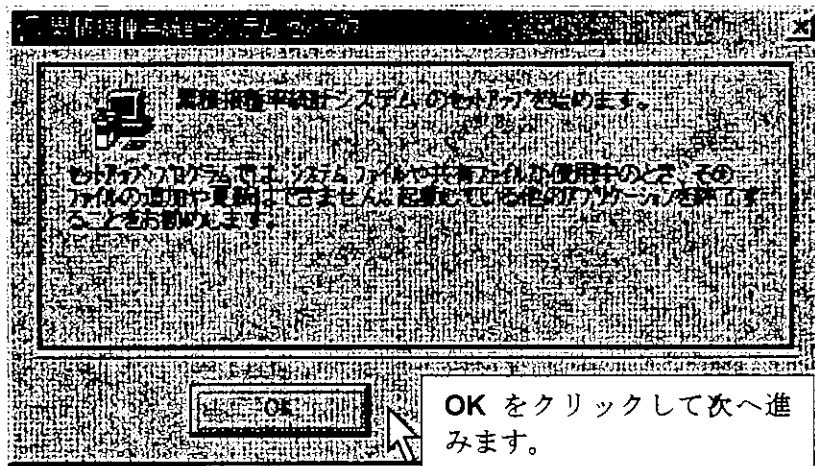
Windows が再起動した後、再度CD-ROMから「setup.exe」をダブルクリックしてインストーラを起動し、セットアップを行ってください。

## 12.2 セットアップ開始画面



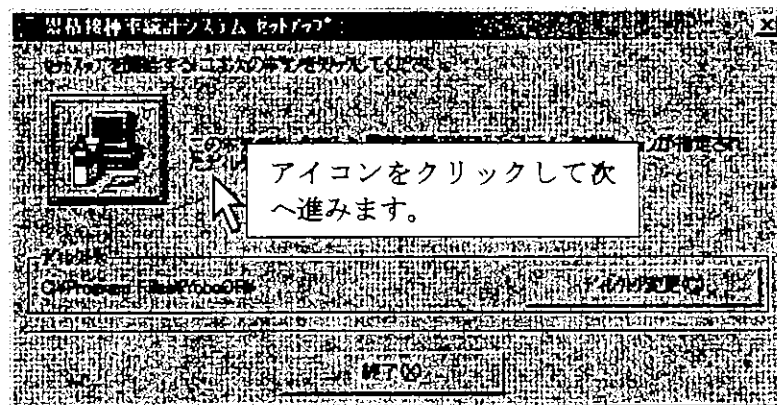
## 12.3 インストール開始前の確認

他のアプリケーションが起動していないことを確認してください。準備ができたなら、[OK] を押して次に進みます。



## 12.4 セットアップの開始

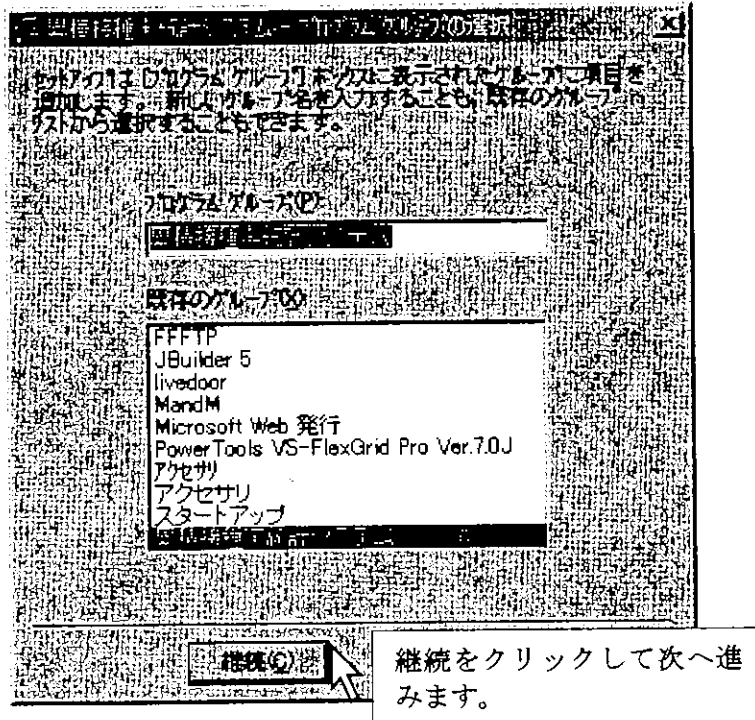
セットアップを開始します。標準の設定では「C : ¥Program Files¥YoboOR」フォルダの中に作成されます。通常はそのままで構いません。インストールフォルダを指定したい場合は、[ディレクトリ変更(C)] ボタンで変更することが出来ます。アイコンをクリックして次へ進みます。



## 12.5 プログラムグループの選択

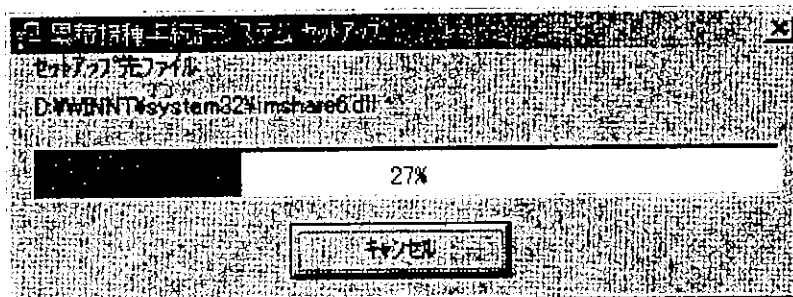
スタートメニューの「プログラム」から起動する際のフォルダ名や、プログラムグループを指定したい場合に設定します。標準では「プログラム」内に「累積接種率統計システム」というファイルが作られます。通常はそのままで構いません。

[継続(C)] をクリックして次へ進みます。



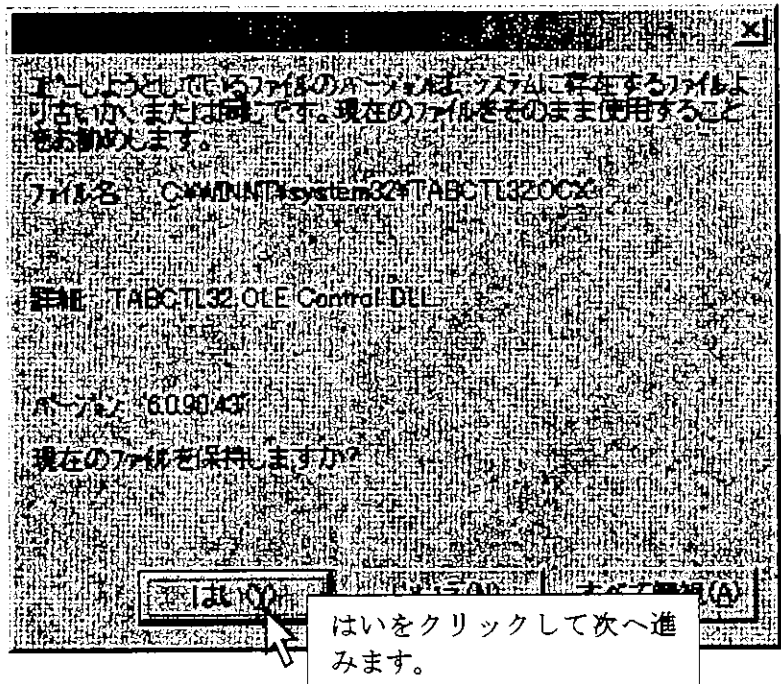
## 12.6 パソコンへのインストール開始

インストール作業が始まると、ファイルの転送状況を示すグラフを表示します。



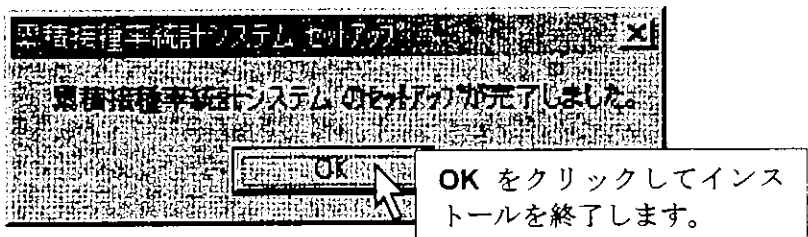
## 12.7 TABCTL32.OCX のバージョンの競合の場合

インストール中に、TABCTL32.OCX のバージョンの競合メッセージが表示される場合があります。セットアップを継続する場合、[はい] を選択してください。



## 12.8 インストールの完了

インストールが終了すると、「セットアップ完了」画面を表示します。  
[OK] を押してインストール画面を閉じます。



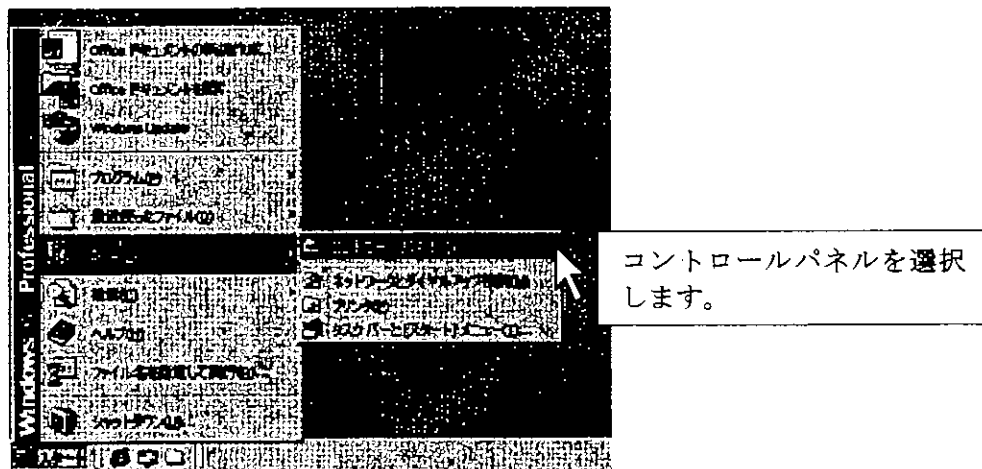


## 1.3. アンインストール

累積接種率統計システムは、Windows の「アプリケーションの追加・削除」機能を使って、ディスクからプログラムを削除することができます。ここでは、その方法を簡単に説明します。

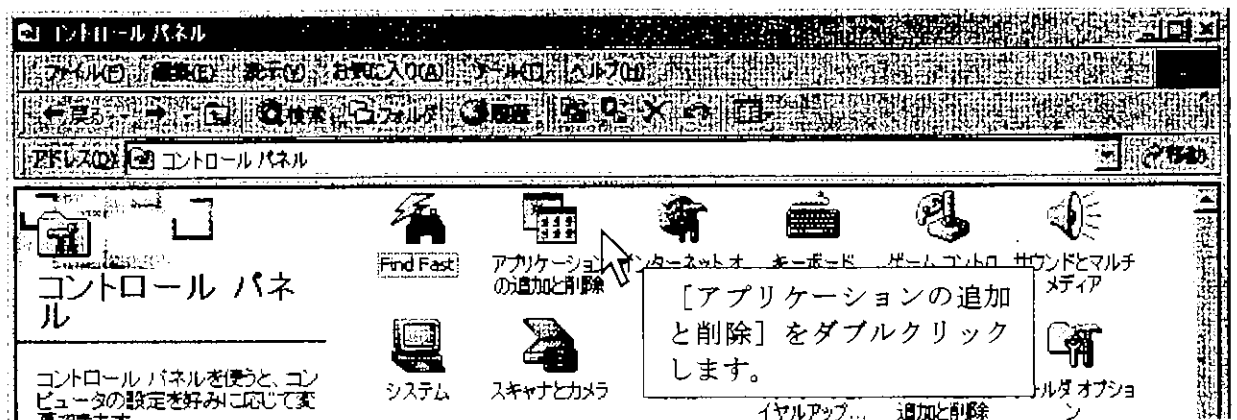
### 1.3.1. コントロールパネルの選択

Windows のスタートボタンを押して、[設定] → [コントロールパネル] を選択します。



### 1.3.2. アプリケーションの追加と削除の実行

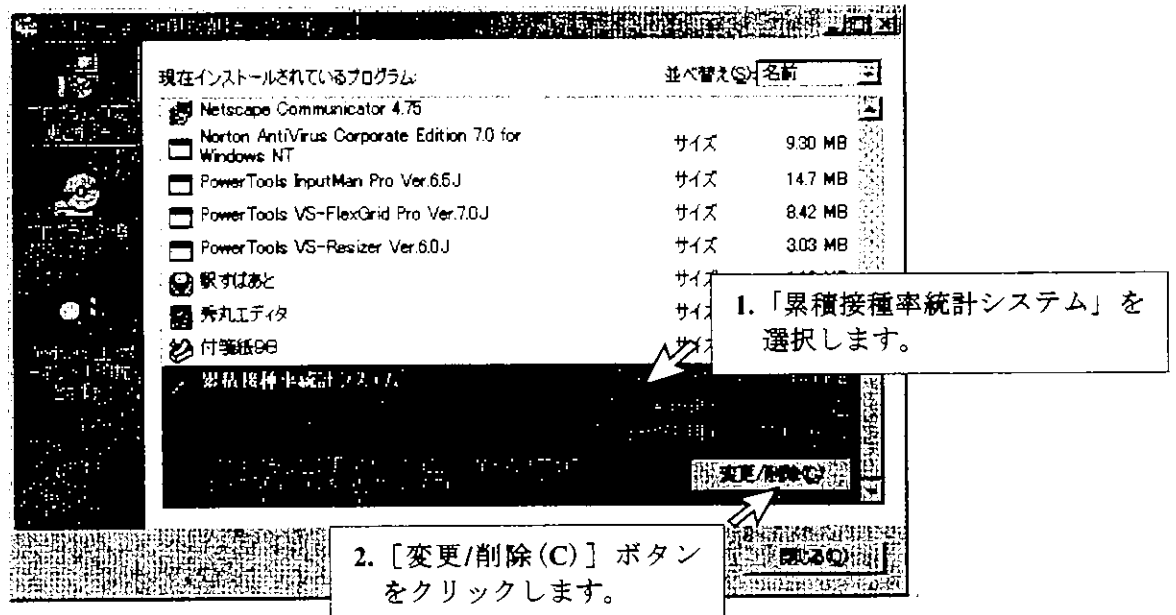
「コントロールパネル」ウィンドウが開きますので、その中の「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。



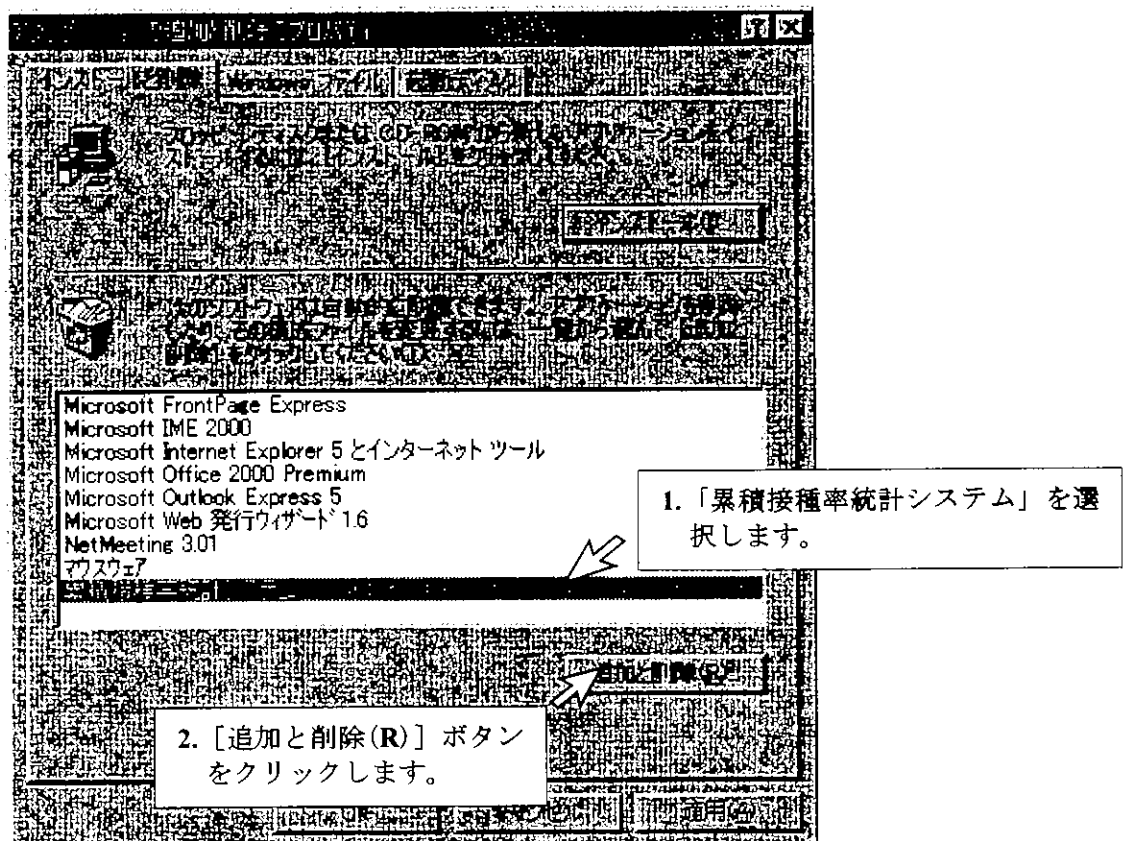
### 1.3.3 累積接種率統計システムの削除

「アプリケーションの追加と削除」が開きますので、アプリケーションソフトの一覧から「累積接種率統計システム」を選択し[変更/削除]ボタン(Windows98の場合は[追加と削除]ボタン)を押します。

#### Windows2000 の場合

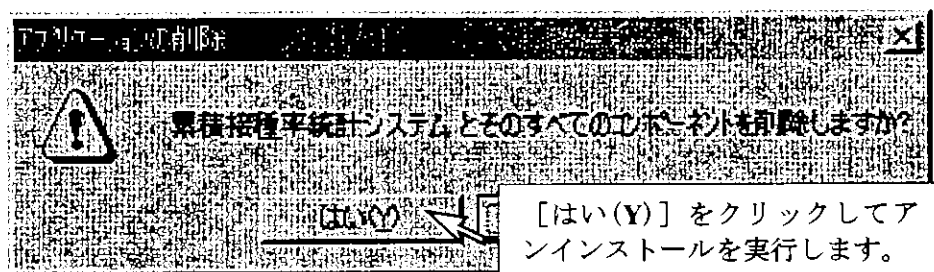


#### Windows98 の場合



### 1.3.4 削除の確認とアンインストールの実行

「アプリケーションの削除」確認ダイアログが表示され、[はい(Y)]を押すとアンインストールが実行されます。



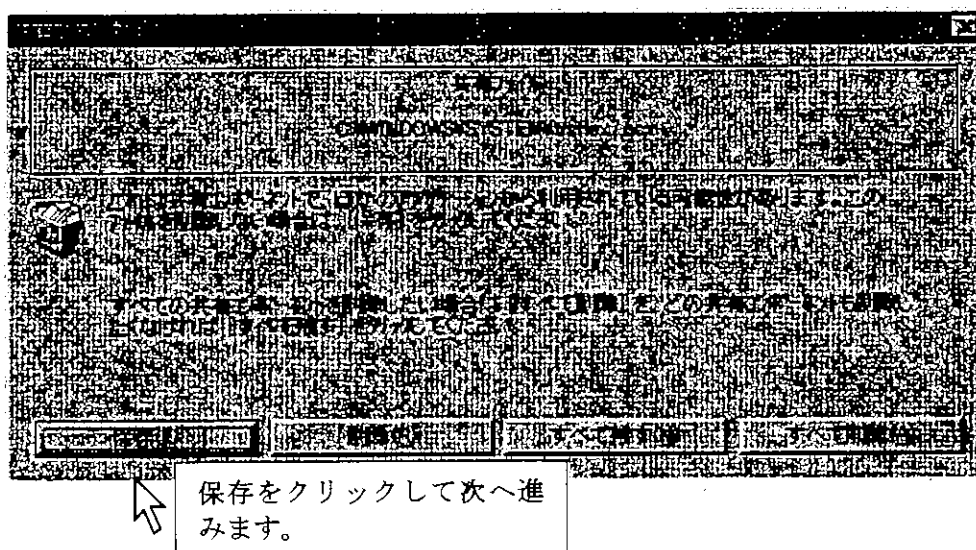
### 1.3.5 共有コンポーネントの確認メッセージ

アンインストール中に、共有コンポーネントの削除確認メッセージが表示される場合があります。共有コンポーネントを削除したい場合は[削除(R)]を、削除したくない場合は[保存(K)]を選択してください。

共有コンポーネントの削除確認メッセージ表示は複数ある場合があります。

全ての共有コンポーネントを削除したい場合は[すべて削除(A)]を、全て削除したくない場合は[すべて残す(N)]を選択してください。

わからない場合は、[保存(K)]を選択してください。



## 13.6 アンインストールの終了

削除の実行後、以下のメッセージを表示し、アンインストールが完了します。



[OK] をクリックしてアンインストールを終了します。

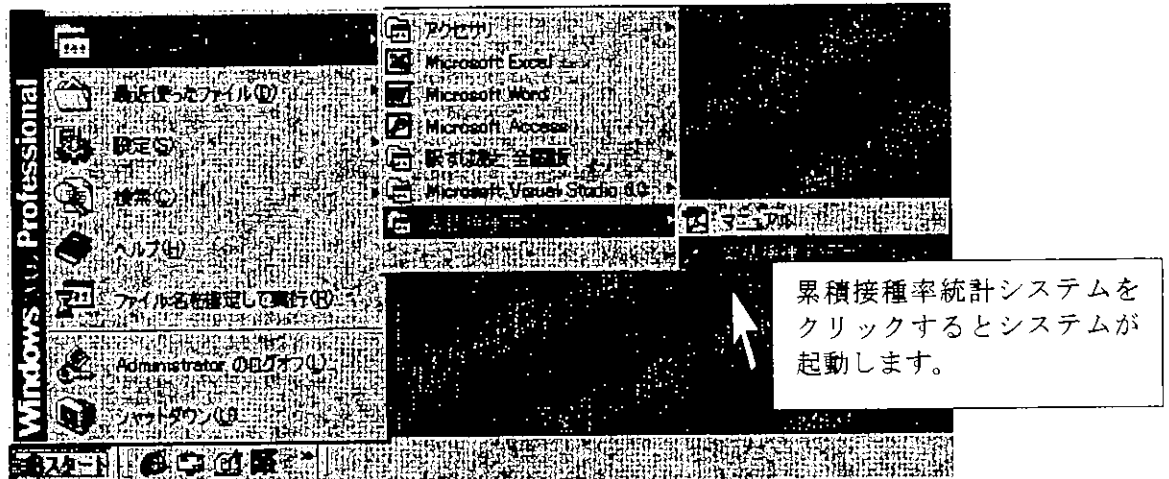
アンインストールが終了したら、「累積接種率統計システム」がソフトウェア一覧に表示されていないことを確認してください。確認したら [OK] を押して画面を閉じます。

以上でアンインストールが完了します。

## 2 システムの起動と終了

### 2.1. システムの起動

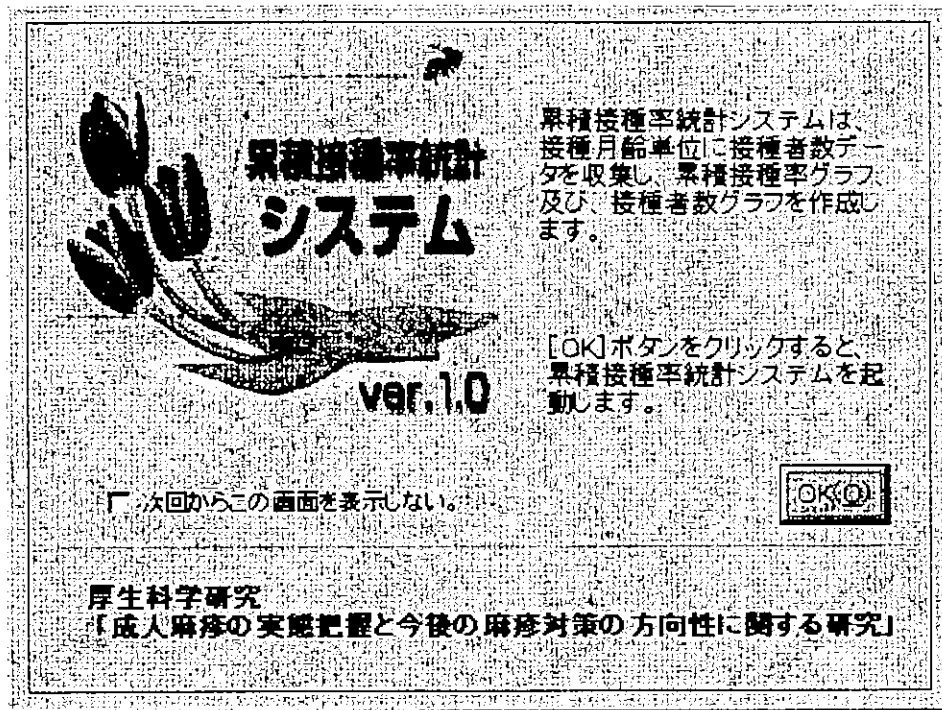
[起動時のデスクトップイメージ]




システムをインストール後、Windows のスタートボタンをクリックし、「プログラム」にポインタを合わせます。「累積接種率統計システム」フォルダから「累積接種率統計システム」をクリックすると本システムが起動し、起動画面が開きます。

システムは二重に起動されないようになっていますので、既に本システムを起動している場合は新たに起動しません。

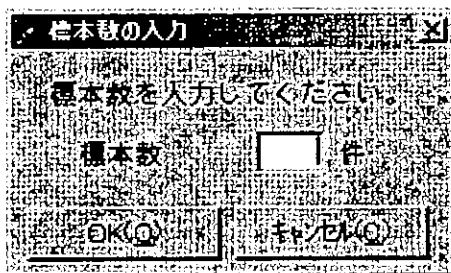
## 2.2. 累積接種率統計システムの起動画面



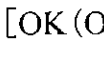
本システムを起動すると起動画面を表示します。 ボタンを押すと本システムを起動します。

次回からこの画面を表示しない。 をチェックすると次回から起動画面を表示しません。

## 2.3. 標本数の入力画面

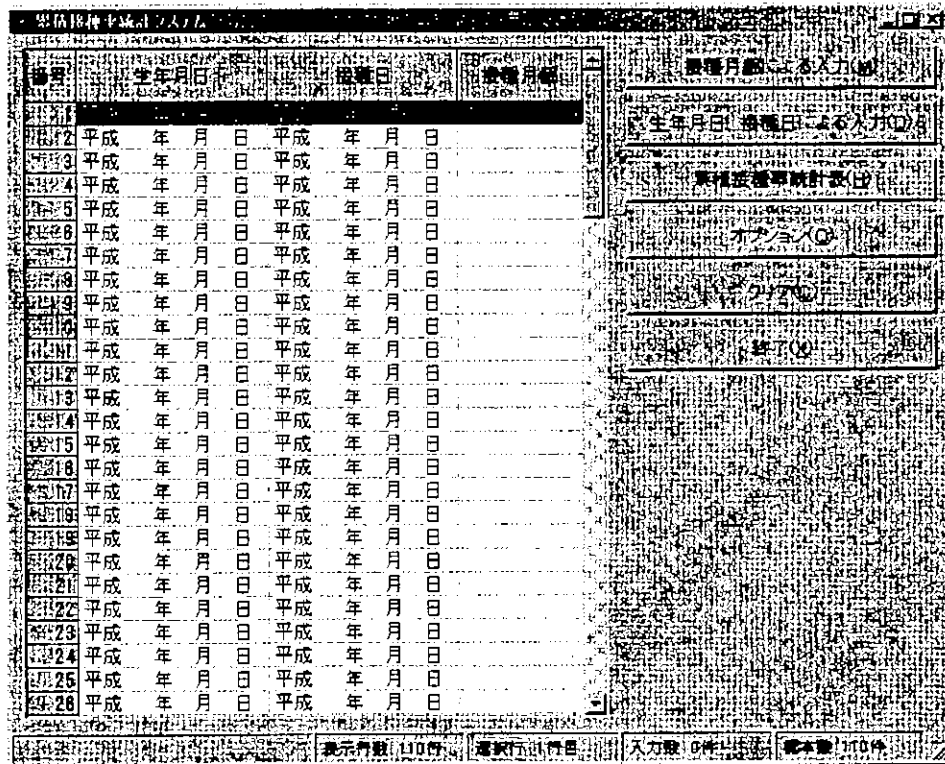


標本数の入力画面です。最初に入力するデータの標本数を本画面で入力します。

標本数の入力後、 ボタンを押すとメイン画面を表示します。

標本数欄は前回入力した標本数が表示されます。(初回起動時は空白です。)

## 2.4. 累積接種率統計システムのメイン画面



本システムの接種月齢画面（メイン画面）です。接種月齢データを一覧表で表示します。

接種月齢データは初回起動時は空白で表示します。2回目以降の起動時は前回の入力データを表示します。

## 2.5. システムの終了

「接種月齢画面（メイン画面）の〔終了(X)〕ボタンを押すと本システムは終了します。」または、「標本数の入力画面の〔キャンセル(C)〕ボタンを押すと本システムは終了します。」

## 2.6. 電子マニュアル

本システムのマニュアル（本書）をパソコンの画面上で閲覧できます。

（閲覧には Adobe 社の Acrobat Reader のインストールが必要です。詳しくは Adobe 社のホームページをご参照ください。）

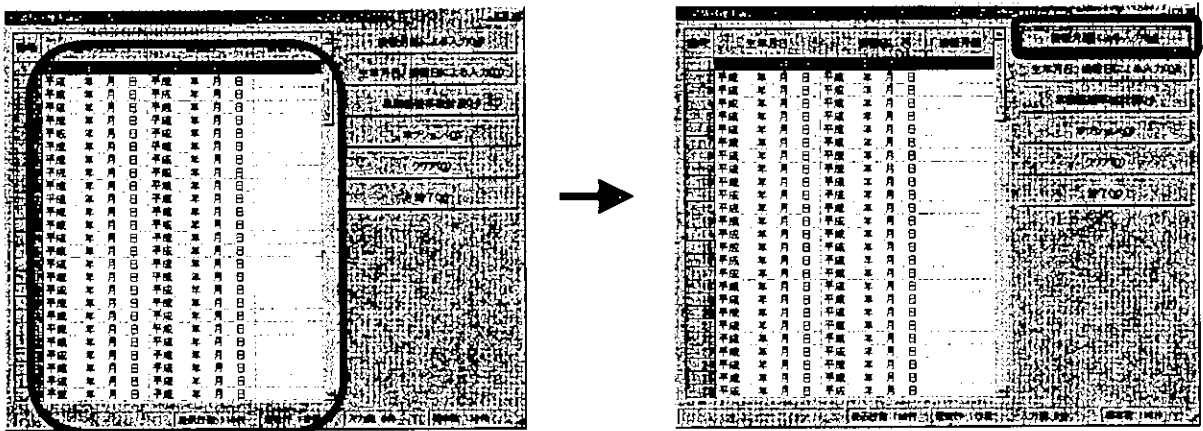
本システムの起動と同様に、Windows のスタートボタンをクリックし、「プログラム」にポインタを合わせ、「累積接種率統計システム」フォルダ内にある「マニュアル」を起動してください。

## システムで共通の操作について

以下の項目は、本システムの全ての画面で共通した操作方法です。

- ・ 入力項目やボタン、表は、[Tab] キーを押すと移動します。
- ・ 入力項目やボタンを逆方向に移動したい場合は、[Shift] + [Tab] キーを押します。
- ・ アクセスキーを使う場合は、[Alt] キーを押しながら指定のキーを押します。
- ・ ボタンにマウスカーソルを近づけると、そのボタンの意味や機能を説明します。

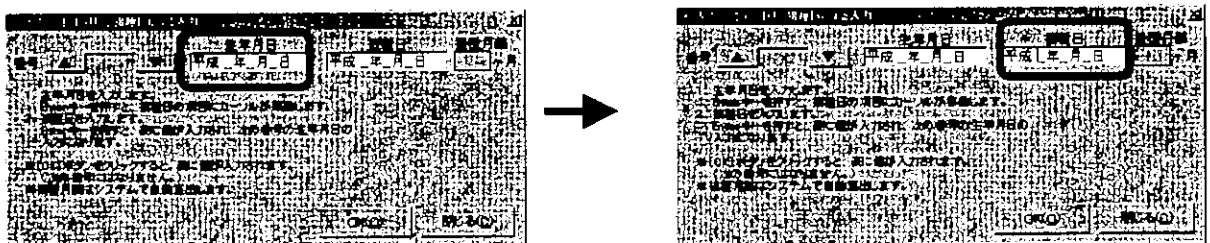
### 3.1. [Tab]キーによるカーソルの移動



[Tab] キーを押すと、カーソルが移動します。

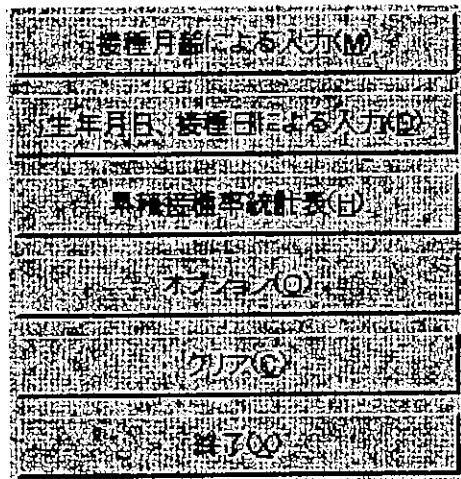
希望のボタンにカーソルを移動させ、[Enter] キーを押すことで、マウスを使わずにボタンを押すことができます。

入力項目も同様に、[Tab] キーを押すとカーソルが移動します。





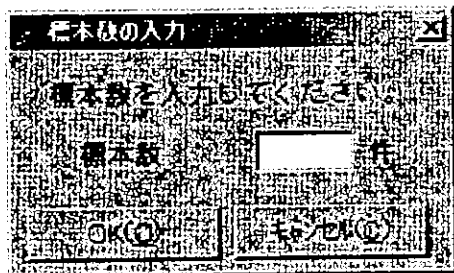
## 3.2. アクセスキーによる指定



上図のようなボタンがある画面で、[Alt] キーを押しながら [M] キーを押すと、マウスを使わずに [接種月齢による入力(M)] ボタンを押すことができます。同様に、[生年月日、接種日による入力(D)] ボタンは [Alt] + [D]、[累積接種率統計表(H)] ボタンは [Alt] + [H]、[オプション(O)] ボタンは [Alt] + [O]、[クリア(C)] ボタンは [Alt] + [C]、[終了(X)] ボタンは [Alt] + [X] で、クリックと同様の動作が得られます。

## 4. 標本数を入力する

システムを起動すると以下の標本数の入力画面を表示します。この画面で標本数を入力します。標本数は採取した接種状況のデータ数のことです。

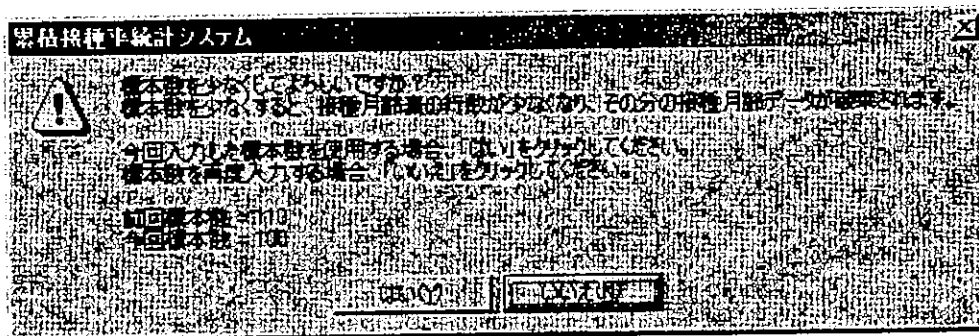


標本数の入力後、[OK(O)] ボタンを押すとメイン画面を表示します。

[キャンセル(C)] ボタンを押すと、本システムを終了します。

標本数欄は初回起動時は空白ですので、採取したデータ数を入力してください。接種月齢画面（メイン画面）に入力した標本数分の接種月齢表を作成します。2回目以降の起動時は、前回入力した標本数、接種月例データをそれぞれ表示します。標本数が異なる場合は変更してください。

前回入力した標本数より少ない値を入力すると、接種月齢表の行数が少なくなり、その分の接種月齢データは破棄されます。以下の警告メッセージを表示しますので、今回入力した標本数を使用する場合、「はい」をクリックしてください。標本数を再度入力する場合、「いいえ」をクリックしてください。



## 5 接種月齢データを入力する

標本数の入力後、以下の接種月齢画面（メイン画面）を表示します。この画面から各接種者の生年月日、接種日、接種月齢を入力する画面に移ります。

接種月齢データは前回終了時の状態で表示されます。（初回起動時は空白です。）

No.	生年月日	接種日	接種月齢
1	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
2	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
3	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
4	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
5	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
6	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
7	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
8	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
9	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
10	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
11	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
12	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
13	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
14	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
15	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
16	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
17	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
18	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
19	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
20	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
21	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
22	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
23	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
24	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
25	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
26	平成 年 月 日	平成 年 月 日	

表示行数: 10件 | 入力数: 0 | 標本数: 10

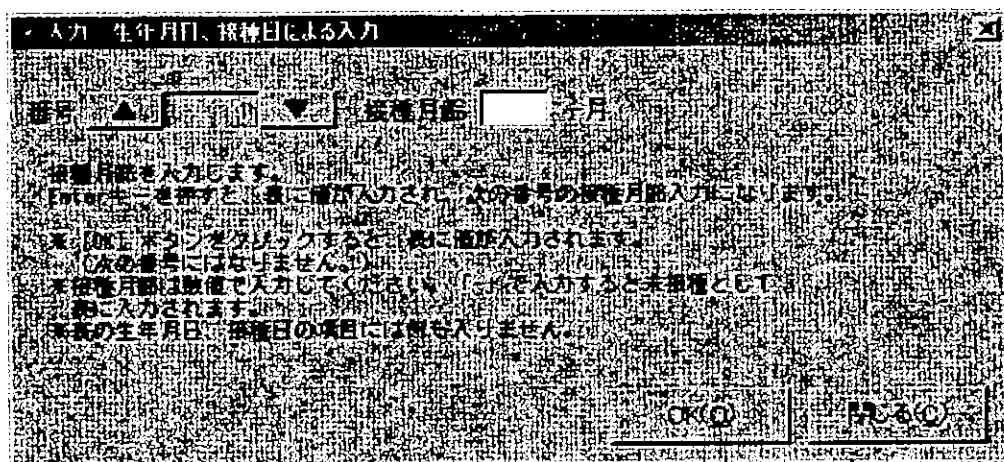
## 5.1. 接種月齢の入力方法

接種月齢の入力方法には、接種月齢を直接入力する方法と、生年月日と接種日を入力する方法の2通りあります。

### 5.1.1 接種月齢による入力



#### [接種月齢による入力(M)] ボタン

接種月齢を直接入力する場合に押してください。以下の入力画面がポップアップして現れます。



接種月齢を入力し [OK(O)] ボタンを押すと接種月齢を登録します。未接種の場合は“-” (マイナス記号) を入力してください。

接種月齢を続けて入力する場合は、接種月齢を入力直後に [Enter] キーを押します。カーソルが次の行に移動して続けて接種月齢を入力できます。

 ボタンを押すとカーソルが上の行に移動します。 ボタンを押すとカーソルが下の行に移動します。

[閉じる(C)] ボタンを押すとこの画面を閉じます。